

ヘビース・シーズ
平和や命の大切さをいろん
な観点から捉え、広げていく
「種」が「ピース・シーズ」
です。世界中に笑顔の花をた
くさん咲かせるため、小学6
年から高校3年までの49人
が、自らテーマを考え、取材
熱筆しています。

河田和子さん
「記憶を受け継ぐ」
「喪失感や悲しさ、年を追つて強く
感じます。被爆者の方々の経験を学ぶ
ことで、世界中の核兵器の現状を知り、
自分たちが何ができるかを考える力が
育まれます。」

この新聞をもっと身近に感じ、
使い込んでほしいという思いで、
ジュニアライターが活用案を話
し合い、実践してみました。みん
なで協力して取り組む作業もあ
ります。皆さんも考えてみませ
んか。

この新聞をもうすぐ8月6日がや
ってきます。被爆70年を迎えたヒ
ロシマのこと、世界の核兵器の現
状。それについて中高生の皆さんに考
えてもらいための平和学習新聞「学ぼうヒロシマ」が出来
上りました。

広島県内の全ての中学校・高校、
そして山口県東部10市町の公立
中学校に順次、配られています。
新聞には、ジュニアライターが取
材した被爆者の証言、原爆・平和
に関するミニ解説、おすすめブッ
クガイド、新聞を読んだ上で答える
問題やクロスワードパズルが載っ
ています。



ヒロシマの10代がまく種

もっと「学ぼうヒロシマ」

第13号

「学ぼうヒロシマ」の紙面

記憶を受け継ぐ

喪失感や悲しさ、年を追つて強く

衝撃の被害、感情「空白」

原爆の被害に追い打ち

河田さんに宛てて書いた手紙

考える。書く。平和の願い

その1
被爆証言者への手紙

証言が載っている被爆者宛てに、感想を伝える手紙を書きました。証言を読んでどう感じたかを文にまとめるなどで、自分の考えをより深められたと思います。

僕たちは河田和子さん(広島市南区)に手紙を書きました。学徒動員先で被爆し、父親たちを捜し歩いた体験を語った人です。印象に残った部分や、証言の内容を広く伝えていく決意を記し、自宅に持っていました。

手紙を読んだ河田さんは涙を浮かべました。若者の熱い思いが伝わってきてうれしい」と話しました。さらに、手紙の中身を踏まえ、「憎しみを越えて心を伝え合うことは平和の原点。そこに人種も国境もありません」と語りました。平和への思いを間近で聞けてよかったです。

手紙や感想文は、比較的手軽に考えを整理できる方法だと思います。皆さんも書いてみてはどうでしょうか。

(高2岩田壮)



ジュニアライターからの手紙を読んで感想を話す河田さん㊨(撮影・中1フィリックス・ウォルシュ)

「家族を突然失うということもつらいだらうと思いました」「そんな経験をしながらも米国を憎まなかつたというのすごいと思いました」

「戦争の経験から自ら前に進もうとする姿からは、私がジュニアライターを始めようとした時の気持ちを思い出しました」

「学ぼうヒロシマ」の中の「記憶を受け継ぐ」に登場する被爆者への手紙や感想文を募集(ぼしゅう)します。長さは問いません。電子メール(kidspj@chugoku-np.co.jp)または郵送(〒730-8677 広島市中区土橋町7の1、中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター「ピース・シーズ」係)でお寄せください。締(し)め切(き)りは9月9日です。寄せられた手紙・感想文はピース・シーズ編集部で取りまとめて届けます。中高生の皆さん、ぜひ書いてみてください。編集部☎082(236)2714。(中3中川碧)

その2
壁新聞



壁新聞を作るジュニアライター

その3
ポップ広告

3
その3
ポップ広告

ポップ広告

「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」
おすすめブックガイドの中の4作品について書店にあるようなポップ広告を作りました。原爆関係の本は怖いイメージがあるなど、とつづきにくい気がしたので興味を持つてもらえたと思います。作業を通じて本の中身や作者の思いをあらためてることができます。

「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」
原爆は投下のその瞬間だけでなく、その後ずっと何代にもわたって傷痕を残してしまう、まさに「終わらない」ものです。「今でも終わらない被爆者の苦しみ」という表現を入れました。

(高2山田杏佳)



「夕凪の街 桜の国」
イラストを日本の挿絵と同じように鉛筆で描きました。色彩のない絵が、弟を失った作者の心情を表していると思えたからです。

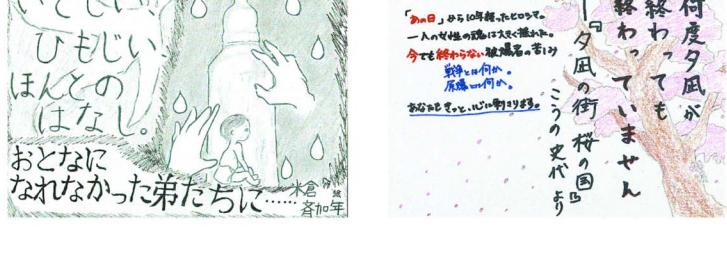
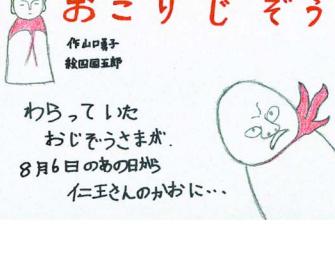
「おどりじぞう」
お地蔵さまの怒っている顔を特に大きく描きました。また、短いフレーズで、続きを読むくなるようにしました。

(小6森本柚衣)

■「おどりじぞう」
お地蔵さまの怒っている顔を特に大きく描きました。また、短いフレーズで、続きを読むくなるようにしました。

(小6森本柚衣)

「学ぼうヒロシマ」は、中国新聞社が2013年から中学生・高校生向けに作っている平和学習新聞です。原爆に関する基礎(きそ)知識や被爆体験証言、被爆者を取材したジュニアライターの座談会のほか、理解度チェック問題やピース・クロスワードがあります。戦争・平和に関するブックガイド、証言の英訳も載っています。タブロイド判、カラー24P。被爆70年のことは、被爆証言映像やジュニアライターの活動をまとめたDVDを初めて作りました。



「あの日のこと
知っていますか」